

県スポ だより

NAGANO

スポーツくじ



県スポだよりはスポーツ振興くじの助成を受けて発行しています

第77回 国民体育大会 冬季大会



冬季競技終了時点
男女総合(天皇杯)2位
女子総合(皇后杯)1位

スケート競技会 男女総合 優勝 (2年ぶり9度目) ・女子総合 優勝 (7年連続21度目)
アイスホッケー競技会 2回戦

スキー競技会 男女総合 2位 ・女子総合 2位

大関御嶽海誕生



初場所において、13勝2敗で3度目の優勝を果たした御嶽海(出羽海部屋)が大関に昇進しました。信州出身力士として雷電以来227年ぶりの新大関に「県民栄誉賞」が贈られることが決まりました。

CONTENTS

- ・第77回国民体育大会冬季大会 …………… 2~6
スケート競技会・アイスホッケー競技会
入賞者・競技成績、優勝者コメント
スキー競技会
大会概要及び本部役員、長野県選手団名簿、入賞者・競技成績
第77回国民体育大会冬季大会総合成績
- ・会議報告 …………… 2
令和3年度 第3回総務専門委員会 第4回理事会
- ・令和3年度日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰 …… 3
- ・加盟団体紹介 …………… 7
伊那市スポーツ協会/長野県グラウンド・ゴルフ協会
- ・第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 …… 8
愛称・スローガン決定
- ・北京オリンピック県内関係 …………… 8
- ・駅伝情報 …………… 8

令和4年(2022年)
3月31日発行

第297号

第77回国民体育大会冬季大会

スケート競技会・アイスホッケー競技会



1月24日(月)～1月30日(日)に、栃木県日光市でスケート競技会及びアイスホッケー競技会が開催されました。本県からは、林泰章団長以下、選手・監督等100名が参加しました。

新型コロナウイルス・オミクロン株が日本全国で猛威を振るうなか、感染症防止対策として、事前事後のPCR検査を行い、経過観察も含めて健康管理に十分配慮しての競技会派遣となりました。

スケート競技会では、スピードスケート競技11種目、ショートトラック競技2種目で優勝し、入賞者は優勝を含め延べ40名となりました。

これにより、男女総合で2年ぶり9度目の優勝、女子総合は7年連続21度目の優勝を飾りました。



優勝者のコメント

スピードスケート
少年女子500m・1000m 2冠

北原 伊織 選手 (岡谷東高校)

第77回国民体育大会 いちご一会とちぎ国体におきましてスピードスケート競技2種目で初優勝を飾る事ができました。

昨年は2種目とも4位と悔しい結果だったため、今回の国体では3位以上を獲ることを目標に練習に励んできました。正直、今年一年頑張ってきたにも関わらず、去年のベストタイムをなかなか更新できず悩ん

でいました。それでも今回、この国体という大きな舞台で2種目優勝を成し遂げられたのは、長野県選手団の皆様が応援してくださいのおかげです。本当にありがとうございます。

スピードスケートの場合にはスタミナ、筋力などの体力的要素と、特殊な姿勢での動きなど技術的要素の2つが求められます。そのため、私はチームでの週4～6のトレーニングに加え、オフの日はランニングやロードバイクといった自分の課題に合わせてメニューを考えるようにしています。スピードスケートは冬の競技なので寒いし、キツイこともたくさんだけど、それ以上に勝つ喜び、速くなる喜びは大きいし、

限界がないというのが魅力でもあると思います。「センス」の一言では片付けられないほど奥深く面白いです。

来年は2連覇というプレッシャーもありますが、自分らしく滑ることができればと思います。引き続き、応援よろしくお願ひします。

スピードスケート
少年女子1500m・3000m 2冠

畠山 雪菜 選手 (小海高校)

今回、いちご一会とちぎ国体では、前回国体の雪辱を果たすことを目標に挑み、

会議報告

令和3年度 第3回総務専門委員会 第4回理事会

【令和4年1月21日(金)】

県スポーツ会館で、第3回総務専門委員会に引き続き第4回理事会が開かれ、議案等が承認されました。



【報告事項】

- 1 第43回北信越国民体育大会について
- 2 SWANプロジェクト13期生について
- 3 令和3年度補正予算の専決処分について
- 4 長野県スポーツ協会創立75周年記念事業について
- 5 賛助会員の状況について
- 6 パートナー企業・団体の状況について
- 7 北京冬季五輪長野県出身選手への激励金の贈呈について
- 8 長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会について
- 9 中信4市スポーツ協会・体育協会協議会からの要望について

【協議事項】

- 1 非業務執行理事等の責任限度契約の締結について
- 2 令和4年度競技力向上対策基本方針について
- 3 第77回国民体育大会長野県選手団について
- 4 令和3年度スポーツ振興功績者表彰について
- 5 長野県スポーツ協会中長期計画(案)について
- 6 令和3年度加盟競技団体ガバナンスコード適合性審査結果について

【その他】

- 1 今後の日程等について
- 2 コンプライアンス教育資料に関する情報提供について

1500m、3000m共に優勝することができました。国体出場は2年目でしたが、国体ならではの賑やかな独特な雰囲気に少し緊張しました。1500mの決勝では最初から全力で飛ばしポイントを取れるとこまで取るという作戦の元、レースを展開しました。最初は他県の選手にポイントを許しましたが、その後のポイントを全て取り、1位でゴールすることが出来ました。3000mでは鈴木花梨さんとワンツーフィニッシュしたいという思いを胸に挑み、1位と3位になることが出来ました。小さい頃からずっと同じリンクで切磋琢磨してきた良きライバルであり、仲間でもある花梨さんと一緒に表彰台に乗ることができ、とても嬉しかったです。また他県の選手と交流したり、トップ選手の滑りを間近に見ることができ、とても良い経験になりました。心強い仲間がそばにいてくれたこと、またコーチや競技役員の方が支えてくださったこと、なによりこの厳しいコロナ禍の中でも開催してくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも高みを目指して、夢や希望を与えられる選手になれるよう精進してまいります。

ショートトラック

少年男子500m・1000m 2冠

林 康生 選手 (地球環境高校)

この度、栃木国体ショートトラック競技少年男子の部において500mと1000mと優勝することができました。

2日目の500mでは、予選から先頭で引ききりA決勝に進出しました。この種目は、大阪の選手の得意種目であるため、スタートで離されないように頑張りましたが、とても速く少し離されてしまいました。ですが、その後の追いつくスピードを

利用して、相手のコースを見極め外から一気に抜き去り優勝しました。

このように、駆け引きで勝負が決まる競技です。なので、頭も使わないと勝つことができません。それこそがショートトラックの魅力だと思っています。今回の経験も活かしながら、3月に行われる世界ジュニアで、海外の選手と全力で戦ってきます。応援よろしくをお願いします。

スピードスケート

成年男子5000m 優勝

ウイリアムソン 師円 選手

(日本電産サンキョー(株))

この度、いちご一会栃木国体で初めて優勝することができました。自分自身高校生以来の出場で9年ぶりの国体でした。

昨年末に行われた冬季北京オリンピック代表選考会において、あと一步届かず3大会連続でのオリンピック出場を逃してしまったこともあり、年が明けてから練習に身が入らない時期も続きました。しかし国体への出場が決まり、まだ自分の活躍を信じて応援してくれる方々や日々サポートしてくれている会社への恩返しができるチャンスが生まれたことが、もう一度立ち上がるきっかけになりました。

最後に少年で出場していた9年前の国体では転倒などもあり優勝経験が無く、普段のスピードスケートとは違い特殊なルールで行われる国体にあまりいい思い出がありませんでした。それを払拭するために臨んだ1種目目の1500mでは周りから優勝候補と言われながらも、予選落ちしてしまいさらに良くないイメージが頭にこびりついてしまいました。そんな中迎えた最終日の5000m決勝では、レース前に「もう失うものは何もない」と吹っ切れてスタートでき

たことが冷静に状況判断しながらのレース運びで優勝できた勝因だと思います。

「師円なら優勝してくれる」と信じて応援していただいた方々のおかげで、最後まで諦めず5000mで優勝することが出来ました。本当にありがとうございました。

スピードスケート

少年男子10000m 優勝

菊原 颯 選手 (市立長野高校)

このたびこの度第77回国民体育大会冬季大会いちご一会とちぎ国体では、スピードスケート少年男子10000メートルで優勝することができました。今回の試合では、10000メートルと一緒に出場した吉澤終威さんと1位2位でゴールすることができました。応援してくださった皆様のおかげで優勝することができました。応援していただきありがとうございました。

今回の国体までに10月から国体強化合宿があり、長野県の選手と切磋琢磨することができたから成し遂げることができたと思います。合宿では先生方やコーチから教えていただいたスケーティングの技術などを向上させることができました。一緒に練習した長野県の選手と、スケートのフォームについて話したり、競い合いながらの練習などで、とても質の高い練習ができたと思います。試合当日では練習の成果を、十分に発揮することができたから成し遂げることができました。レースでは最初に飛び出す展開になりましたが、最初のスプリント力が去年よりも向上したから、勝ち取ることができました。

練習を見てくださった先生やコーチの方々、応援してくださった方々に、感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきます。引き続き応援よろしくをお願いします。

令和3年度 公認スポーツ指導者等表彰者

公益財団法人日本スポーツ協会は、特に顕著な功績があったスポーツ指導者を表彰しています。

本年度は当協会加盟団体から推薦のあった方を、長野県スポーツ協会として公益財団法人日本スポーツ協会に推薦し、その結果次の方が表彰されました。

百瀬 貴氏

資格：陸上コーチ3 アシスタントマネジャー

推薦：長野陸上競技協会

「県スポだより」は、
本会ホームページでも
ご覧いただけます。



<http://www.nagano-sports.or.jp/tayori/index.html>

第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の成績

1 大会の概要

開催地	開催期間	派遣選手団	大会成績			
			男女総合		女子総合	
スケート	栃木県	R4.1.24	獲得点	順位	獲得点	順位
アイスホッケー	日光市	～30	264.0 (参加点20台)	1位	111.0 (参加点10台)	1位
前回大会			99名	205.0	2位	104.0

2 スケート競技会の成績

男女総合	順位							
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
県名	長野	北海道	愛知	兵庫	福	栃	群馬	山梨
得点	254.0	172.5	125.0	109.0	108.0	94.0		89.0
前回大会	北海道	長野	愛知	兵庫	神奈川	山形	大阪	福岡
得点	203.0	195.0	124.0	118.0	106.0	84.0	75.0	72.0
女子総合	順位							
県名	長野	北海道	福岡	山梨	神奈川	愛知	東京	兵庫
得点	111.0	83.0	81.0	76.0	62.0	55.0	52.0	43.0
前回大会	長野	山形	北海道	群馬	愛知	東京	神奈川	兵庫
得点	104.0	100.0	65.0	62.0	53.0	50.0	49.0	48.0

3 アイスホッケー競技会の成績

総合	順位							
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
県名	北海道	東京	埼玉	神奈川	青森	京都	栃木	愛知
得点	90.0	75.0	75.0	50.0	35.0	30.0	25.0	25.0
前回大会	北海道	埼玉	青森	大阪	宮城	千葉	東京	福岡
得点	90.0	70.0	45.0	40.0	40.0		35.0	

4 総合成績 (スケート・アイスホッケー競技会終了時点)

男女総合	順位							
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
県名	長野	北海道	東京	愛知	埼玉	神奈川	栃木	兵庫
得点	264.0	262.5	158.0	150.0	140.0	135.0	124.0	119.0
前回大会	北海道	長野	愛知	埼玉	兵庫	神奈川	大阪	福岡
得点	293.0	205.0	144.0	135.0	128.0	123.5	120.0	107.0
女子総合	順位							
県名	長野	北海道	福岡	山梨	神奈川	愛知	東京	兵庫
得点	111.0	83.0	81.0	76.0	62.0	55.0	52.0	43.0
前回大会	長野	北海道	神奈川	愛知	福岡	兵庫	山梨	三重
得点	104.0	100.0	65.0	62.0	53.0	50.0	49.0	48.0

5 総合成績の推移

	男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)	
	獲得点	順位	獲得点	順位
77回大会	264.0	1位	111.0	1位
76回大会	205.0	2位	104.0	1位
75回大会	228.0	2位	105.0	1位
74回大会	210.0	2位	102.0	1位
73回大会	254.0	2位	117.0	1位

6 入賞者数の推移

[下段は少年の部で内数]

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	計
	77回大会	13	10	4	3	5	2	2	1
76回大会	12	4	3	1	1	1	1	0	23
75回大会	5	6	5	6	8	2	2	1	35
74回大会	2	6	2	4	4	2	0	0	20
73回大会	11	4	6	1	2	5	6	4	39
72回大会	4	3	4	1	1	2	5	2	22
71回大会	7	9	3	4	3	4	2	1	33
70回大会	5	7	2	3	1	4	1	1	24
69回大会	8	10	7	3	3	2	3	3	39
68回大会	4	5	4	2	2	1	1	2	21

7 成績の推移

	スケート男女総合		スケート女子総合		アイスホッケー	
	獲得点	順位	獲得点	順位	獲得点	順位
77回大会	254.0	1位	111.0	1位	10.0	11位
76回大会	195.0	2位	104.0	1位	10.0	12位
75回大会	203.0	1位	105.0	1位	25.0	7位
74回大会	195.0	1位	102.0	1位	15.0	9位
73回大会	224.0	1位	117.0	1位	30.0	7位

8 第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会の入賞者

順位	種別	種目	氏名	所属	記録	獲得点	
1位	成年男子	スピード	5000m	ウイリアムソン節門	日本電産サンキョー	6' 29" 90	8.0
	少年男子	スピード	500m	高見澤匠牙	小海高校	36" 96	8.0
	少年男子	スピード	1000m	井出 雄斗	小海高校	1' 11" 83	8.0
	少年男子	スピード	1500m	井出 雄斗	小海高校	1' 48" 14 大会新	8.0
	少年男子	スピード	5000m	吉澤 終威	小海高校	6' 44" 10	8.0
	少年男子	スピード	10000m	菊原 颯	市立長野高校	17' 19" 86	8.0
	少年男子	スピード	2000m リレー	高見澤匠牙	小海高校	2' 25" 88	8.0
				渡邊 一牙	市立長野高校		
				菊原 颯	市立長野高校		
				吉澤 翔	地球環境高校		
	少年女子	スピード	500m	北原 伊織	岡谷東高校	40" 31	8.0
	少年女子	スピード	1000m	北原 伊織	岡谷東高校	1' 20" 52	8.0
	少年女子	スピード	1500m	島山 雪菜	小海高校	2' 01" 77	8.0
	少年女子	スピード	3000m	島山 雪菜	小海高校	4' 20" 64	8.0
少年男子	ショート	500m	林 康生	地球環境高校	41" 635	8.0	
少年男子	ショート	1000m	林 康生	地球環境高校	1' 31" 620	8.0	
2位	成年男子	スピード	500m	久保 尚希	日本電産サンキョー	36" 50	7.0
	成年男子	スピード	1000m	山田 将矢	日本電産サンキョー	1' 11" 01	7.0
	成年女子	スピード	3000m	百瀬 愛美	信州上諏訪温泉浜の湯	4' 07" 47	7.0
	少年男子	スピード	5000m	中村龍太郎	長野工業高校	6' 47" 77	7.0
	少年男子	スピード	10000m	吉澤 終威	小海高校	(17' 37" 44)	7.0
	少年女子	スピード	2000m リレー	野明 花菜	岡谷南高校	2' 40" 10	7.0
				清水 叶華	伊那西高校		
				林 ひよな	東海大諏訪高校		
	成年男子	ショート	1000m	菊池 哲平	帝産クラブ	1' 27" 619	7.0
	成年男子	ショート	5000m リレー	小黒 義明	三菱電機	7' 29" 316	7.0
				菊池 哲平	帝産クラブ		
				新井 雄貴	日本大学		
				大門 飛路	日本大学		
	成年女子	ショート	500m	篠原 理沙	帝産クラブ	45" 943	7.0
少年女子	ショート	1000m	宮下 心夢	岡谷東高校	1' 38" 457	7.0	
3位	成年男子	スピード	5000m	土屋 陸	日本電産サンキョー	6' 30" 88	6.0
	少年男子	スピード	1000m	高見澤匠牙	小海高校	1' 22" 29	6.0
	少年女子	スピード	1000m	野明 花菜	岡谷南高校	1' 22" 01	6.0
	少年女子	スピード	3000m	鈴木 花梨	須坂創成高校	4' 21" 31	6.0
	成年男子	スピード	1000m	三井 晃太	専修大学	(1' 12" 09)	5.0
4位	成年女子	スピード	1000m	松本 芽衣	信州大学	(1' 19" 37)	5.0
	少年女子	スピード	500m	野明 花菜	岡谷南高校	40" 61	5.0
5位	成年男子	スピード	2000m リレー	長谷川 翼	日本電産サンキョー	2' 23" 11	4.0
				ウイリアムソン節門	日本電産サンキョー		
				久保 尚希	日本電産サンキョー		
	少年女子	スピード	1000m	両角ほのか	信州大学	(1' 20" 18)	4.0
	少年男子	スピード	500m	吉澤 翔	地球環境高校	37" 08	4.0
成年男子	ショート	500m	菊池 哲平	帝産クラブ	43" 244	4.0	
成年女子	ショート	3000m リレー	小池 佑奈	群馬県ファイナシナルホールディングス	4' 43" 132	4.0	
			篠原 理沙	帝産クラブ			
			宮澤 里緒	八戸学院大学			
			宮澤 茉那	信州大学			
6位	成年女子	ショート	1000m	篠原 理沙	帝産クラブ	1' 39" 828	3.0
	少年女子	ショート	500m	宮下 心夢	岡谷東高校	47" 767	3.0
7位	少年女子	スピード	1500m	鈴木 花梨	須坂創成高校	(2' 07" 13)	2.0
	成年女子	ショート	1000m	小池 佑奈	群馬県ファイナシナルホールディングス	1' 39" 985	2.0
8位	成年女子	スピード	500m	上條 真綺	山梨学院大学	40" 62	1.0

※ () 内の記録は、スピード競技において責任先頭制の回数を完了していないため、参考記録として記載

スキー競技会



2月17日(木)~20日(日)に、秋田県鹿角市でスキー競技会が開催され、本県からは太谷陽一団長(長野県スキー連盟副会長)以下、選手・監督・役員103名が参加しました。

昨年はスキー競技が中止となったため、2年ぶりに開催された今回は、2種目で優勝を果たし、入賞は優勝を含めて延べ26種目となりました。

この結果、スキー競技会における成績は、男女総合、女子総合とも2位となりました。

I 大会概要及び本部役員

- 1 会 期 令和4年2月17日(木)~20日(日) [4日間]
- 2 会 場 地 秋田県(鹿角市)
- 3 日程と会場 (凡例) ◎開始式・表彰式 ○競技日 ◇公式練習日 ◆予備ラウンド ●種目別表彰式

会場地	式典・競技	令和4年2月				会 場
		17日	18日	19日	20日	
鹿角市	開始式	中止				
	表彰式				◎	鹿角トレーニングセンターアルパス
	ジャイアントスラローム		○	○	○	花輪スキー場
	クロスカントリー		○	○	○	
	スペシャルジャンプ	◇				
	コンバインド	◇	◆	○		
		クロスカントリー			○	
		種目別表彰式		●	●	●

4 役員・監督・選手数 (単位:人)

項目	役員	監督	選手			派遣トレーナー・特殊技術スタッフ等	合計	
			男	女	計			
本部役員	18	—	—	—	—	—	18	
スキー	ジャイアントスラローム	—	1	15	9	24	8	33
	スペシャルジャンプ	—	1	※11	—	※11	2	13
	コンバインド	—	—	※9	—	※9	3	13
	クロスカントリー	—	1	13	7	20	9	30
合計	18	3	48	16	64	22	107	
			●44		●60		●103	

注1 ※はスペシャルジャンプとコンバインドに4人が重複登録
 注2 実参加者数は合計103人(選手は男44人 女16人 計60人)

5 旗 手 竹内 択 選手 (Team taku)
 出場種目: スペシャルジャンプ 成年男子B

6 本部役員

役職名	氏 名	所 属
団 長	太谷 陽一	(公財)長野県スキー連盟副会長
副 団 長	小林 和夫	(公財)長野県スキー連盟副会長
総 監 督	森 晃	(公財)長野県スキー連盟常務理事・競技本部長
顧 問	茅野 繁巳	(公財)長野県スポーツ協会専務理事
〃	北島 隆英	(公財)長野県スポーツ協会常務理事(県教委スポーツ課長)
〃	河野 政己	(公財)長野県スキー連盟専務理事
〃	正木 信安	(公財)長野県スキー連盟常務理事・総務本部長
スポーツクター	倉石 修吾	信州大学医学部附属病院
スポーツクター	瀬口 達也	瀬口脳神経外科病院
総 務	伊東 一雄	(公財)長野県スポーツ協会事務局長
〃	中出 丈晴	(公財)長野県スキー連盟事務局
〃	藤澤 文隆	(公財)長野県スポーツ協会総務課長
〃	片瀬 秀一	(公財)長野県スポーツ協会競技課長
〃	鹿野恵利子	(公財)長野県スポーツ協会指導主事
〃	小林 勇満	(公財)長野県スポーツ協会主事
〃	新井 優貴	(公財)長野県スポーツ協会主事
〃	田島 康彦	(公財)長野県スポーツ協会幹事・(県教委スポーツ課体育スポーツ振興係長)
〃	奥原 貴彦	(公財)長野県スポーツ協会幹事・(県教委スポーツ課指導主事)

7 監督

種 別	氏 名	所 属
ジャイアントスラローム	宮田 享	白馬村スキークラブ
クロスカントリー	東 禎孝	飯山市スキークラブ
ジャンプ・コンバインド	児玉 和興	志賀高原スキークラブ

II 監督・選手

1 ジャイアントスラローム

- 監督 1 選手 24(男15 女9) 計25名
 ◇宮田 享 白馬村スキークラブ
- 成年男子A
 切久保仁朗 法政大学
 桑原 太陽 日本大学
 高橋 良伸 日本大学
- 成年男子B
 堀田 大喬 (株)高見澤
 三上 正人 キープワンSC
 清水 大 小質坂スキークラブ
- 成年男子C
 小林晋之介 セロワンレーシング
 良波 拓夢 乗鞍スキークラブ
 西条己智男 長野市スキークラブ
- 成年女子A
 前田知沙樹 菅平高原スキークラブ
 高橋和花菜 日本大学
 坂東 楓 専修大学
- 成年女子B
 吉田ひばり 湯の丸スキークラブ
 堀内 祐香 JR東日本長野支社スキークラブ
- 少年男子
 笹岡 蒼空 飯山高校
 金沢 優大 小海高校
 津野尾広大 白馬高校
 保坂 宙 飯山城北中学校
 山本 洸貴 中野立志館高校
 宮島 碧生 飯山高校
- 少年女子
 保坂 花 長野俊英高校
 渡邊 愛蓮 長野俊英高校
 太田 朱里 白馬高校
 切久保 絆 白馬高校

2 スペシャルジャンプ

- 監督 1 選手 11(男11) 計12名
 ◇児玉 和興 志賀高原スキークラブ
- 成年男子A
 中村 優斗 C O O T S(株)
 永峯 寿樹 Team taku
 中村 愛斗 明治大学
- 成年男子B
 竹内 択 Team taku
 横川 良太 白馬村スキークラブ
- 少年男子
 山崎叶太郎 飯山高校
 久保田康太郎 飯山高校
 平田 悠理 白馬高校
 西方 遥人 飯山高校
 矢口 昂太 飯山高校
 目時 羽琉 小谷中学校

3 コンバインド

- 選手 9(男9) 計9名
- 成年男子A
 山本 侑弥 早稲田大学
 畔上 祥吾 中央大学
 松沢 大翔 明治大学
- 少年男子
 山崎叶太郎 飯山高校
 久保田康太郎 飯山高校
 小野沢泰雅 飯山高校
 矢口 昂太 飯山高校
 西方 遥人 飯山高校
 小野沢秀太 飯山高校

4 クロスカントリー

- 監督 1 選手 20(男13 女7) 計21名
 ◇東 禎孝 飯山市スキークラブ
- 成年男子A
 湯本 幸耶 中央大学
 笹掛 隼士 中央大学

- 小林 皓生 中央大学
- 成年男子B
 関 真二 関英ドライブイン
- 成年男子C
 成瀬 野生 白馬村スキークラブ
 浦野 裕之 飯山市スキークラブ
 山田 琢也 木島平スキークラブ
- 成年女子A
 宮崎日香里 (株)アドベンチャー
 芳川 千恵 日本体育大学
 笠原 ひな 日本体育大学
- 少年男子
 池田 遼一 飯山高校
 祢津 利空 中野立志館高校
 小笠原 舜 飯山高校
 徳竹 佑哉 中野立志館高校
 徳竹 侑己 中野立志館高校
 西澤 来波 白馬高校
- 少年女子
 鎌倉 春音 白馬高校
 山本 真優 中野立志館高校
 竹内 美琴 飯山高校
 小林百々果 中野立志館高校

5 リレ

- (ノルディック種目エントリー者より選抜)
 選手 18(男12 女6) 計18名
- 成年男子
 湯本 幸耶 中央大学
 笹掛 隼士 中央大学
 小林 皓生 中央大学
 関 真二 関英ドライブイン
 成瀬 野生 白馬村スキークラブ
 浦野 裕之 飯山市スキークラブ
- 少年男子
 池田 遼一 飯山高校
 祢津 利空 中野立志館高校
 小笠原 舜 飯山高校
 徳竹 佑哉 中野立志館高校

- 徳竹 侑己 中野立志館高校
 西澤 来波 白馬高校
- 女 子
 宮崎日香里 (株)アドベンチャー
 芳川 千恵 日本体育大学
 笠原 ひな 日本体育大学
 鎌倉 春音 白馬高校
 山本 真優 中野立志館高校
 竹内 美琴 飯山高校

派遣トレーナー・特殊技術スタッフ等

- ジャイアントスラローム
 関 喜行 志賀高原スキークラブ
 田辺 幸汰 菅平高原スキークラブ
 塚原 和也 篠ノ井高校崖峽校教員
 高橋 一浩 飯山市スキークラブ
 大瀧 詞久 野沢温泉スキークラブ
 矢崎 悠喜 飯山高校教員
 富井 利一 野沢温泉スキークラブ
 両角 真伊 相澤病院
- スペシャルジャンプ
 佐藤 友紀 白馬高校教員
 北村 耕平 池田工業高校教員
- コンバインド
 久保田真一郎 飯山高校教員
 青木 純平 中野立志館高校教員
 秋山 純也 (株)BCF
- クロスカントリー
 祢津 和利 木島平スキークラブ
 川辺俊一郎 中野士建(株)
 野口 誉隆 白馬高校教員
 市川 昭 野沢温泉スキークラブ
 高橋幸一郎 飯山高校教員
 矢嶋 正明 菅平高原スキークラブ
 山崎 裕 みゆき野整骨院
 沼田 鉄平 沼田整骨院
 竹田三津子 くまき接骨院

第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会の成績

1 大会の概要

※前回大会(76回秋田)は中止

開催地	開催期間	派遣選手団	大会成績			
			男女総合		女子総合	
			得点	順位	得点	順位
秋田県 鹿角市	R4.2.17 ~2.20	103名	138.0 (参加点10含)	2位	52.0 (参加点10含)	2位
前々回大会※		111名	138.0	2位	37.0	5位

2 競技会の成績

※前回大会(76回秋田)は中止

男女総合	順位	1位 2位 3位 4位 5位 6位 7位 8位																								
		県名	得点	順位	県名	得点	順位	県名	得点	順位																
男子(天皇杯)	1	北海道	203.5	138.0	2	長野	119.0	116.0	3	秋田	116.0	4	山形	53.0	5	富山	51.5	6	岐阜	43.0	7	青森	43.0	8	岩手	43.0
女子(皇后杯)	1	北海道	63.5	52.0	2	長野	46.0	40.0	3	秋田	40.0	4	山形	23.0	5	青森	21.0	6	富山	21.0	7	三重	21.0	8	福島	21.0

3 成績の推移

大会	男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)	
	得点	順位	得点	順位
77回大会	138.0	2位	52.0	2位
76回大会	中止			
75回大会	138.0	2位	37.0	5位
74回大会	158.5	2位	62.5	1位
73回大会	183.5	1位	68.0	1位

4 入賞者数の推移 [下段は少年の部で内数(女子リレー含む)]

大会	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	計
77回大会	2	6	4	3	4	3	2	2	26
76回大会	1	3	3	1	1	3	1	0	13
75回大会	5	4	3	2	3	3	5	3	28
74回大会	3	5	4	6	1	7	4	3	33
73回大会	5	7	7	2	3	8	0	5	37

5 スキー競技会の入賞者及び得点獲得者

順位	種別	種目	氏名	所属	記録等	得点	
1位	成年男子A	ジャイアントスラローム	切久保仁朗	法政大学	55'75	8	
	少年男子	コンパインド	山崎叶太郎	飯山高校	Jump 117.4 CC 23'22"6	8	
2位	成年男子C	ジャイアントスラローム	小林晋之介	ゼロワンレーシング	58'97	7	
	成年女子A	ジャイアントスラローム	前田知沙樹	菅平高原スキークラブ	56'31	7	
	少年男子	ジャイアントスラローム	笹岡 蒼空	飯山高校	56'33	7	
	少年男子	スペシャルジャンプ	山崎叶太郎	飯山高校	210.4	7	
3位	成年男子A	コンパインド	山本 侑弥	早稲田大学	Jump 112.5 CC 22'29"2	7	
	少年男子	クロスカントリー 10kmクラシカル	池田 遼一	飯山高校	25'40"2	7	
4位	少年女子	ジャイアントスラローム	渡邊 愛蓮	長野俊英高校	1'00"53	6	
	成年男子C	クロスカントリー 5kmクラシカル	成瀬 野生	白馬村スキークラブ	13'02"8	6	
	女子	クロスカントリー 4×5kmリレー	山本 真優	中野立志館高校	58'45"2	6	
			鎌倉 春音	白馬高校	14'50"1		
			笠原 ひな	日本体育大学	15'01"2		
			宮崎日香里	櫛アドベンチャー	13'59"1		
	少年男子	クロスカントリー 4×10kmリレー	赤津 利空	中野立志館高校	1:44'49"7	6	
			徳竹 佑哉	中野立志館高校	27'13"8		
	5位	少年女子	ジャイアントスラローム	保坂 花	長野俊英高校	1'00"66	5
				山田 琢也	木島平スキークラブ	13'12"4	5
		成年男子C	ジャイアントスラローム	長波 拓夢	乗鞍スキークラブ	1'01"18	4
				太田 朱里	白馬高校	1'00"79	4
成年男子A		コンパインド	畔上 祥吾	中央大学	Jump 101.0 CC 22'56"2	4	
			宮崎日香里	櫛アドベンチャー	14'34"8	4	
少年男子		スペシャルジャンプ	平田 悠理	白馬高校	198.9	3	
			久保田廉太郎	飯山高校	Jump 97.4 CC 23'40"6	3	
6位	少年男子	コンパインド	山本 真優	中野立志館高校	14'20"9	☆4	
			山本 真優	中野立志館高校	1:40'08"4 25'03"8		
	成年男子	クロスカントリー 4×10kmリレー	香掛 隼士	中央大学	25'09"5	2	
			小林 皓生	中央大学	24'12"1		
少年女子	クロスカントリー 5kmクラシカル	関 真二	関栄ドライブイン	25'43"0	☆3		
		鎌倉 春音	白馬高校	14'29"9			
7位	成年男子B	ジャイアントスラローム	塩田 大喬	機高見澤	54'54	1	
			堀野 裕之	飯山市スキークラブ	13'33"6	★0	
8位	成年男子C	ジャイアントスラローム	高橋和花菜	日本大学	57'27	☆2	
			湯本 幸耶	中央大学	25'30"0	☆1	

☆印は他県8位内3名以上のため繰り上げ得点 ★印は本県8位内3名以上のため得点なし

第77回国民体育大会総合成績(冬季大会終了時点)

1 大会概要

開催地	開催期間	派遣選手団	大会成績				
			男女総合		女子総合		
			得点	順位	得点	順位	
スケート競技会	栃木県 日光市	R4.1.24 ~30	100名	254.0	1位	111.0	1位
アイスホッケー競技会				10.0	11位	-	-
スキー競技会	秋田県 鹿角市	R4.2.17 ~20	103名	138.0	2位	52.0	2位
第77回国民体育大会冬季大会終了時点			203名	402.0	2位	163.0	1位

3 最近の総合成績の推移(冬季大会終了時点)

大会	男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)	
	得点	順位	得点	順位
77回大会	402.0	2位	163.0	1位
76回大会	205.0	2位	104.0	1位
75回大会	366.0	2位	142.0	1位
74回大会	368.5	2位	164.5	1位
73回大会	437.5	1位	185.0	1位

※76回大会のスキー競技会は中止

2 総合成績(冬季大会終了時点)

※前回大会のスキー競技会は中止となったため得点なし

男女総合	順位	1位 2位 3位 4位 5位 6位 7位 8位																						
		県名	得点	順位	県名	得点	順位	県名	得点	順位														
男子	1	北海道	466.0	2	長野	402.0	3	東京	171.0	4	愛知	160.0	5	埼玉	155.0	6	神奈川	149.0	7	栃木	140.0	8	新潟	139.0
女子	1	北海道	293.0	2	長野	205.0	3	愛知	144.0	4	埼玉	135.0	5	兵庫	128.0	6	神奈川	123.5	7	大阪	120.0	8	福岡	107.0
男子	1	長野	163.0	2	北海道	146.5	3	福岡	99.0	4	山梨	86.0	5	神奈川	72.0	6	愛知	65.0	7	東京	62.0	8	山形	59.0
女子	1	長野	104.0	2	北海道	100.0	3	神奈川	65.0	4	愛知	62.0	5	福岡	53.0	6	兵庫	50.0	7	山梨	49.0	8	三重	48.0



加盟団体の紹介

伊那市スポーツ協会

伊那市スポーツ協会は、昭和29年（1954年）4月1日に伊那町及び周辺各村（富良野、美郷、手良、東春近、西箕輪）が合併して伊那市が誕生したことに合わせて、各地区体協が合併して発足しました。その後、平成18年3月30日に伊那市、高遠町、長谷村の3市町村が合併して新伊那市が誕生する中で、伊那市体育協会に高遠町体育協会が合流し、海洋部などの新たな競技団体を迎えました。その後現在に至るまで、スポーツの振興に伴って様々な競技の活動が活発化する中、加入を希望する競技団体を随時迎え、現在では33の競技団体とスポーツ推進委員会、地区公民館の全44団体が加盟しています。平成31年には、多くの人々のスポーツ参画を促し、スポーツという文化を後世に継承していくため、本協会の名称を「伊那市スポーツ協会」に変更しました。

さて、伊那市では、昭和53年に長野県の高校新人駅伝大会として始まった「春の高校伊那駅伝」が、令和4年3月の大会で男子45回、女子38回を迎え、今日では県内外の強豪校を含む多くの高校が参加する全国規模の高校新人

駅伝大会として定着しています。この大会は市内に大規模な交通規制をかけることから人員が多数必要で運営も非常に困難ですが、本協会陸上競技部をはじめ、加盟各部・各団体が協力し、大会の成功に貢献しているところです。

また、伊那市は、昭和53年に長野県で開催された第33回国民体育大会「やまびこ国体」にて、伊那市、高遠町、南箕輪村合同でソフトボール会場を運営した経験を基に、現在は「ソフトボールのまち」として、毎年全国規模のソフトボール大会を数多く招致し、本協会ソフトボール部も全面的に運営に協力しています。2028年に長野県で開催される第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会では、伊那市が再びソフトボール競技の大会会場に内定していることから、今後も引き続き全国規模の大会運営に協力し、国民スポーツ大会に向けた機運を醸成していく所存です。

2022年1月現在、未だ長引くコロナ禍の中、多くのスポーツ活動には制限が伴っていますが、少しずつ以前のような活気溢れる姿を取り戻しつつあります。豊かな人生を送るためには心身

が健康であることが何よりも重要で、そのためには運動・スポーツが不可欠です。今後ますますスポーツが重要性を増し、活性化、多様化が見込まれる中で、今後も随時加入希望団体を受入れ、一層のスポーツ振興に寄与してまいります。



春の高校伊那駅伝2021



2020日本女子リーグ1部 トヨタ×太陽誘電

長野県グラウンド・ゴルフ協会

「生涯スポーツで豊かな人生を」

長野県グラウンド・ゴルフ協会
松山 博保

グラウンド・ゴルフは「だれでも・いつでも・どこでも」だれとでも楽しめ年齢・性別・障害の有無を問わず「スポーツ・フォー・オール」の精神で親しむ生涯スポーツです。

誕生は昭和57年鳥取県の泊村（現・湯梨浜町）の教育委員会を中心に創案され、文部省（現文部科学省）の生涯スポーツ推進事業の指定を受け、高齢者にふさわしい生涯スポーツの基本理念を尊重しながら昭和58年「日本グラウンド・ゴルフ協会」が誕生しました。

長野県グラウンド・ゴルフ協会は昭和63年6月15日に設立し、日本グラウンド・ゴルフ協会へは同年6月30日に全国で9番目に加盟いたしました。2年後の平成2年に「第2回全国グラウンド・ゴルフ交歓大会」が松本市で開催されました。

長野県スポーツ協会へは平成31年4月1日に加入いたしました。

近年はコロナ禍の影響で大会が延期、中止を余儀なくされていますが「国際グラウンド・ゴルフ大会」や「ワールドマスターズゲーム2021関西大会」他、国体（公開競技）や全国



交歓大会、全国ねんりんピックなどの大会があります。県関係では北信越交歓大会（5県持ち回りで550名から750名参加）で毎年開催され、県内では4地区合同で「県スポーツ協会長杯大会」を年4回行なっております。

グラウンド・ゴルフの特徴は高度な技術が必要とせず、ルールも簡単で誰でもすぐ楽しめることから「スポーツに人間を合わせる」のではなく「人間にスポーツを合わせる」優しいスポーツが理念のひとつになっています。また他のスポーツではあまり見られない90歳を超えても元気に楽しくプレーしている姿も見られ、人生100年時代も夢ではないと感じております。

場所は広場（学校のグラウンドや公園）にスタートマットとホールポストを設置すれば、いつでもどこでも出来「1コース8ホール」の中に（15m、25m、30m、50m×2）同じ距離が連続しない様配置し、全てのホールで

ホールインワンが狙えるよう設定されています。直径6センチの樹脂製のボールを専用のクラブで打ち、直径36cmの円形のホールポスト内に1打で止まれば「ホールインワン」達成となり、総打数からホールインワン1回につき3点マイナスされるのが最大の特徴で、チャレンジ精神も湧き「だれにでも勝つチャンス」があります。また「マナー・エチケット・ルール」を正しく理解し自分自身を審判する公平性や公正さも強く求められ「勝ち負け」にこだわらず、お互いにリスペクト仕合いながら「フェアプレー精神」と「自律性」も養われます。

更に高齢者が直面している生活習慣病予防やフレイル予防など健康寿命の延伸と精神面の充実を体感しながら、仲間との交流を共に楽しみ、人生を豊かにし「健康長寿社会」の実現と「生涯スポーツ振興」に少しでも寄与出来るよう皆で努めて参りたいと思っております。

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガンが決定しました!!

2月2日(水)に開催された、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会常任委員会において、令和10(2028)年に開催予定の大会の愛称とスローガンが決定しました。

愛称

信州やまなみ国スポ・全障スポ

〈趣旨〉日本の屋根と呼ばれ、多くの美しい山々を有する長野県。
大会に関わるすべての人が、信州の山脈のようにつらなり、手を取り合い、未来へとつながる大会を目指します。

スローガン

行こう。それぞれの頂へ。

〈趣旨〉頂点を目指すだけが大会の意味ではなく、それぞれにそれぞれが想うゴールがあります。
選手や観戦する人、ボランティアなど、大会に関わるすべての人が、自分の思い描く頂(いただき)を目指す様子をイメージしています。

北京オリンピック出場選手 (長野県関係)

種目	氏名	所属等	出身等	備考	
スピードスケート	男子 小島 良太	(株)エムウェーブ	長野市	初出場	
	男子 一戸誠太郎	全日本空輸(株)	信州大出	2回目	
	女子 小平 奈緒	社会医療法人財団滋泉会相澤病院	茅野市	4回目	
	女子 高木 菜那	日本電産サンキョー(株)	(長野県企業所属)	3回目	
ショートトラック	男子 菊池 耕太	社会医療法人恵仁会	南牧村	初出場	
	男子 小池 克典	全日空商事(株)	茅野市	初出場	
	女子 菊池 悠希	全日本空輸(株)	南相木村	2回目	
	女子 菊池 純礼	富士急行(株)	南相木村	2回目	
	女子 神長 汐音	全日空商事(株)	南牧村	2回目	
ノルディックスキー	女子 ジャンプ 岩淵 香里	北野建設SC	上田市	2回目	
	複合	男子 渡部 暁斗	北野建設SC	白馬村	5回目
		男子 渡部 善斗	北野建設SC	白馬村	3回目
		男子 山本 涼太	長野日野自動車SC	木島平村	初出場
	距離	男子 馬場 直人	中野土建SC	山ノ内町	初出場
フリースタイルスキー	女子 小林 千佳	長野日野自動車SC	飯山市	初出場	
	モーグル	男子 杉本 幸祐	(株)デイリーはやしや	大町北高-松本大出	初出場
		男子 原 大智	日本スキー場開発SC	(長野県企業所属)	2回目
		男子 松田 颯	しまだ病院	白馬高出	初出場
スロープスタイル、ビックエア	女子 近藤 心音	オリエンタルバイオ(株)	白馬村	初出場	
スノーボード	女子 ハーフパイプ 今井 胡桃	プリオホールディングス(株)	上田市	2回目	
	スロープスタイル・ビックエア	女子 鬼塚 雅	(株)星野リゾート	(長野県企業所属)	2回目
リュージュ	男子 小林 誠也	信州スポーツ医療福祉専門学校	飯綱町	初出場	

駅伝情報

皇后杯第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	1月16日	京都府	長野県チーム	第10位(2時間18分21秒)
天皇杯第27回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	1月23日	広島県	コロナウイルス感染症拡大のため中止	